

学校関係者評価委員会（第3回）報告

1 日 時 令和7年2月12日（水）15:00～16:30

2 場 所 受付等：校長室，会議：視聴覚室

3 出席者

- (1) 外部委員：野沢好則，真茅孝洋，永野慶一郎
- (2) 校内委員：校長，教頭，事務長，長野，福留，兒玉，鈴木，田畑，古田，町頭，田代，上野，前山，上床，溝端

4 協 議

- (1) 学校の現状説明（校長）
- (2) 「自己評価表」最終評価の説明（各担当者）
- (3) 各種アンケート結果説明（学校評価係）
- (4) 意見交換（外部委員から）

5 意見交換（外部委員より）

- ア 生徒の底上げをしていただき。そうすることで，学校全体にも良い効果がでるのではないかと考える。
- イ 悩みや問題を抱えている生徒の対応も大変だとは思いますが，使命感を持って対応をお願いしたい。
- ウ 些細なことでも全員で協力して，周りから羨ましがられるような学校にして欲しい。
- エ 今年度の反省点を踏まえて，来年度の重点課題の見直しをしてはどうか。
- オ 現実として，生徒の全体数が減ってきている。私立高校の方が人気があり，保護者は，交通の便を気にしている。
- カ 水産高校＝海洋科ではなく，各学科コースの魅力をもっと発信した方が良い
- キ 高等学校のタブレット端末の配備状況は？
→学校の現状を説明
- ク タブレット端末に慣れた生徒が入ってくるので，タブレット端末が活用できる授業を展開していくことも必要。
- ケ 地域のイベントには，積極的に参加して学校PRにつなげてほしい。
- コ ICT機器の活用について，抵抗なく使用できるようにしていかなければならない。ICT化，DX化に対応しないといけない。
- サ 生徒の主体性や自主性について，社会に出てからも大切な能力と思うので，学生時代からの教育や指導を引き続きお願いしたい。